

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 吉田 忠典

①重点施策項目名	介護予防を進めます
②目標値	(H28) 要介護要支援認定率 17.67% (H32) 要介護要支援認定率 17.60%
③今年度の取組方針	高齢者の身体状況にあわせて、各地区のまちづくり推進センター等で多様な介護予防教室を開催します。また、各町区で行われる自主的な介護予防の取組を支援します。
④上半期の取組内容	高齢者の身体状況にあわせた介護予防教室を各地区まちづくり推進センター等で開催しています。今年度から音楽サロンを立ち上げ、音楽による介護予防という新しい角度からアプローチしています。 (実施教室：元気づくり教室、いきいき健康教室、ふまネット運動、ロコモーショントレーニング教室、音楽サロン等) また、各町区の自主的な介護予防活動である「通いの場」の立ち上げを支援し、1町区で立ち上げ、現在8カ所で活動が行われています。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

「通いの場」の立ち上げ支援は、広報を充実させ、さらなる広がりを目指すこと。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 吉田 忠典

①重点施策項目名	障害のある人が地域生活に定着できるように支援体制の充実を図ります
②目標値	(H28) 相談支援事業年間利用者数 264人 (H32) 相談支援事業年間利用者数 310人
③今年度の取組方針	障害のある人が地域で安心して暮らせるために、障害福祉サービスの利用支援や日常生活支援などの相談が、気軽にできる相談支援体制の強化を図ります。
④上半期の取組内容	<p>障害者やその家族に対し、日常生活支援や障害者総合支援法に基づく福祉サービスの相談などの相談支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合相談支援センター相談件数 : 3,522件 (8月末現在) ●総合相談支援センター相談実人数 : 161人 (8月末現在)
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

日常業務の様々な機会をとらえて、障害者やその家族が持つ悩みなどを相談支援につなげるように対応すること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 吉田 忠典

①重点施策項目名	第3期地域福祉計画を策定します
②目標値	(H28) 第3期地域福祉計画策定率 100%
③今年度の取組方針	全ての市民が互いに人権を尊重し、生活の中心である地域において助け合い、誰もがその人らしい安心で充実した生活ができるような地域社会を築いていく取組をまとめます。
④上半期の取組内容	<p>5月に庁内関係各課に対し、現計画の実施状況及び今後の課題について調査を行いました。</p> <p>6月に16歳以上85歳以下の市民2,000人に対しアンケート調査を実施しました。</p> <p>6月～9月に区長、民生委員・児童委員、老人クラブやPTAなどの諸団体の方を対象に住民座談会を8地区各2回（計16回）実施しました。</p> <p>8月に第1回推進会議及び幹事会を実施しました。</p> <p>9月に第1回策定委員会を開催しました。</p> <p>現在、市民アンケート・住民座談会で出された意見に対し、関係各課での取組調査を実施しています。</p>
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題（次年度に向けて）	

◇所管部長の指示

上半期

おおむねスケジュール通りに進捗しており、今後も計画通りに進行管理を行うこと。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 吉田 忠典

①重点施策項目名	生活困窮者の就労を支援します
②目標値	(H28) 就労支援利用者のうち就労した者の割合 70%
③今年度の取組方針	稼働能力がある生活困窮者を支援するため、ジョブナビ鳥栖と連携した就労相談体制を充実させ、職業訓練、職業紹介、求職活動等の支援を行い、生活保護に至る前の自立助長に努めます。
④上半期の取組内容	利用者21人に対し支援を行い、うち11人が就職しました。 (内訳) 平成27年度からの利用者11人を支援 6人就職 平成28年度からの新規利用者11人を支援 5人就職 転出による終了 2人 生活保護へ移行 1人 就労支援継続中 7人
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

今後もジョブナビ鳥栖と連携した就労相談体制を充実させ、稼働能力の活用を支援し、相談者の自立助長につなげること。

下半期